

第5回 ビブリオバトル（書評合戦）開催 20190620

今年度第5回(通算63回)、ビブリオバトルが6月20日(木)に開催されました。

今回の発表者(バトラー)は5年生1名、4年生3名の4人でした。

『頭が良くなる議論の技術』は、議論のノウハウを書いた本。議論が盛り上がるコツが書いてあるそうです。『クロノス・ジョウンターの伝説』は、短編集。以前創作展の劇の題材として使われていたことが読むきっかけになったとのこと。『プレーンソング』は、父親に薦められて読んだ本。会話形式で話が進み、本にあまり縁がない人もお勧めだそうです。『QEDシリーズ』は、神話を中心とした歴史のミステリー。巻末に参考文献が多く書かれており、よく調べて書いているという印象を持ったそうです。史実と著者の歴史的解釈のバランスもよく、読みどころだと語ってくれました。

チャンプ本は投票の結果『プレーンソング』（保坂和志：著）に決まりました。バトラーの皆さん、素敵な本の紹介ありがとうございました。



本日のバトラーのみなさん

今回紹介された本(発表順)

書名	著者名
頭が良くなる議論の技術 ☆	齋藤孝
クロノス・ジョウンターの伝説 ☆	梶尾真治
プレーンソング チャンプ本	保坂和志
QED シリーズ	高田崇史

☆・・・この本は、学校図書館にあります。

※ ビブリオバトルとは自分が好きな本や読んでおもしろいと思った本の魅力を人前で紹介し、どの本が読みたくなったかを競うというものです。コンセプトは「人を通じて本を知る 本を通じて人を知る」です。発表者(バトラー)が1人5分の持ち時間で書評した後、バトラーと観客による投票で一番読みたくなった本「チャンプ本」を決定します。